

「語り部」の配置・派遣等

「語り部」とは

実体験や深い知識などに基づき、若い世代に生の声で関係者の労苦を語り継ぐ担い手。

(独) 平和基金では、これまで「語り部」を育成し、平和祈念展示資料館に配置するとともに、小学校等に派遣し、関係者の労苦について理解と感銘を一層深める機会を提供している。

「語り部」の人数 (H20. 3末現在)

24名

(兵士体験者7名、抑留者経験者8名、引揚体験者6名、総合語り部3名)

「語り部」の活躍の例 (H16年度～19年度)

○学校派遣 …… 計54回 (107クラス 約3,500人)

東京近郊の小学校の要請を受けて、総合学習などの場に「語り部」を派遣。

○資料館配置・説明 …… 計228回

資料館の入館者の多い休日や団体見学日等を中心に「語り部」を配置・説明。平成18年7月以降、「総合語り部」を常駐。

○平和祈念フォーラム …… 計10回

フォーラムにパネリストとして参加。

「語り部」への感想（例）

小学校での感想

- やはり、教科書だけで学ぶより、生の話をきいた方が、戦争に対するうったえがよく伝わりました。平和な現代だからこそ、過去の戦争のことをきちんと理解し、そして二度とくり返さないようにしなければいけないと思いました。
- 今、戦争について全く知らない人がいます。私は、その人たちに戦争について知ってもらいたいです。これから、語りつぐ人々が、いなくなるので次の世代の人達に、語りついでいけたらいいなと思います。
- 私は大人になったら次の世代の人へとかたりつぎたいと思います。
- 共に戦った戦友の死や、食料がないなどのつらいことをわかりやすく話してくださったので、戦争のことがとてもよくわかりました。
- 私は、お話を聞く前は、戦争が終わったらすぐに日本に帰ってこれると思っていました。しかし、戦争が終わってもまだ帰れない人がたくさんいるという事を斉藤さんのお話を聞いて初めて知る事ができました。
- これからもいろんな学校をまわってその体験を語ってあげてください。
- シベリアにつれて行かれた話、昔の様子など絵があってとてもわかりやすかったです。始めて聞いたのでこんなことがあったなんて知りませんでした。
- 今、日本は戦争がなく平和な日々をすごしています。こんな幸せな日々を送れるのは戦争などの大変な国民の苦労があったからだと思います。
- 話は本やテレビを見たよりもずっとおそろしかったです。収容所の3年間の話を聞いてまるで自分が収容所にいるみたいでした。

- 今日、教えてもらったことをいかして、将来この感動を誰かに伝え、少しでも安全で平和な国に一步、一步近づけていけたら良いなと思います。
- 話を聞いて、昔のつらい体験があったからこそ、今の安全で平和な日本があることが分かりました。本当にありがとうございました。

平和祈念展示資料館での感想

- 北海道に長く住みながら、引揚者の方々について何も知らないでいました。それどころか、戦争そのものに対して、現実味を帯びて感じる事が出来なideいたが、戦争を経験した人の話を聞いて、初めて実感した。(30代・女性)
- 説明員の方の説明がとてもわかりやすく、戦争という遠い過去の事としてとらえていた事をすごく身近にリアルに感じました。今一度平和について改めて考えていきたいと思います。(10代・女性)
- 本日は急な申し出(解説)に快く応じて下さりありがとうございました。この場所やお聞きしましたお話を家族や友人等にも伝えていきたいと思います。(40代・女性)

平和祈念フォーラムでの感想

- 初めて戦争を体験した方々のお話を聞きました。若い世代にもどんどん伝えて欲しいと真剣に感じました。(不明)
- 多くの犠牲者の元に今の日本があるということを強く感じた。戦後生まれで何も知らなかったし、本を読んだ事があるだけなので、生の声で体験を聞いて、大変な時代を感じた。(50代・女性)
- 体験談は語りつがれる大切なことである。体験談は涙あふれて止まらずです。(不明)
- 直に戦争体験者の方の話を聞ける場というものは貴重なもので、この場にこれほど本当によかったです。(不明)